

作成日：2009年1月16日（改訂日：2009年8月17日）

総図名	七尾	1/2.5万図名	(下唐川・中島)
対象地点の中心	北緯 37° 09' 23.14"	東経 136° 47' 03.62"	Area C(10)

<p>地形分類図</p> <p>背景の等高線は北陸電力㈱計測の航空レーザ測量データによる。</p>	<p>空中写真</p> <p>● 地形分類図と空中写真との同一地点</p>
---	---------------------------------------

SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m

撮影年月日：2007年2月23日～2007年4月10日

解像度：FBS/FBD (2007年2月23日) / FBS/FBD (2007年4月10日)

衛星の視線方向：西側上空から東向き / 東側上空から西向き

	<p>衛星進行方向</p> <p>衛星視線方向</p> <p>近づく (増大、西向き) / 遠ざかる (減少、東向き)</p> <p>衛星-標高視線方向の変位量 (m)</p> <p>(点 a は右図参照)</p> <p>背景の等高線は北陸電力㈱計測の航空レーザ測量データによる。</p> <p>Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI</p>
--	--

備考：

小起伏面～滑落崖上部

①干渉縞：明瞭（断続的）

②視線方向の色変化：（逆C字型変動の東側の無変化の青色部分 a を基準に東から西へ向かって）

青→黄→赤色

（西から東へ向かうと青→赤→黄色となるが、東側の青色と逆C字型変動のすぐ西側の青色は一周期異なっていて、それよりさらに西の青色とは位相が異なると解釈される。この SAR 干渉画像から位相の切れ目を読み取ることはできない。）

③移動方向：西へ近づく / ないしは隆起

干渉縞は小起伏面分布地域にある。小起伏面の北西向き斜面には地すべり地の頭部滑落崖が分布する。干渉縞から読める変動は西向きで、北西に向く地すべりが西向き成分をもって活動したと考えられる。